

(別紙) 産業競争力の強化に向けたDBJの取り組み

オープン・イノベーションを通じた競争力強化の取り組み

2012/11 競争力強化に関する研究会

「新たな方法論」と「具体的なプロジェクトの実践」を通じ、マインドセット変革の「運動化」を企図

2013/1 中間報告を発表

価値創造につながる(連携促進に向けた)「**構想力**」を強化し、その構想をビジネスとして実践・実現する「**場**」の構築を促進する「自らの課題解決」を促進する政府諸施策の充実と、**リスクマネー供給**等を通じた金融の後押しも重要

2013/夏 最終報告取りまとめ(予定)

個別テーマの深耕や人材育成等について、「**競争力強化ファンド**」「**大手町イノベーション・ハブ**」等を活用した取り組みを継続

中間報告を受けた当行独自の取り組みとして…

◆ **競争力強化ファンド** ⇒新たな価値創造のためのリスクマネー供給

(1,500億円規模→3,000億円規模までの拡大も視野)

企業の潜在能力を、新たな事業フロンティアの開拓や戦略的連携・オープンイノベーションの推進等を通じて事業化し、成長に繋げる取り組みをリスクマネー供給を通じて後押しする

- **第1号案件**として、ソーラーフロンティア(株)が行う太陽光発電事業に対する出融資を決定(2013/4)
 - 独自技術であるCIS太陽電池にかかる、バリューチェーンが一体となった取り組み
 - 新用途の開拓・分散型電源の普及など、将来展開における他企業との連携可能性
 - 小規模プロジェクトを束ねることによるファイナンス可能性の拡大など
- **第2号案件**として、NEC向けハイブリッドファイナンスも決定
今後は「iHub」との連携も強化

◆ **大手町イノベーション・ハブ(iHub)** ⇒新たな価値創造のための「場」作り

社会的課題をビジネスで解決することを見据え、

- 企業・官庁・社会(大学・市民・自治体等)と広く連携し、
- 課題抽出と課題解決を結びつけ、
- 広く「自らの殻」を打ち破る運動を興すとともに、
- **新たな協創型ビジネスを構想する「場」**を目指す

- まずは「運動化」に向けた拠点として活用
- ライフスタイル革新等に向けた長期的テーマも今後検討
 - 超高齢社会における近距離モビリティ
 - 生活者の健康な暮らしとコミュニティの役割
 - 「300m×300mの生活空間」における持続可能性 等

オープン・イノベーション:我が国に既に存在する高い技術・ノウハウの新たな組み合わせによる価値向上